



## ひろばの声

3月11日からの数日、余震が続く中、被災地への思いと、この先の不安とが渦巻いていました。一人ひとりの親子が、生きていく長い道のりの一つの給水所である“ひろば”で今できる事… それは親自身の胸の中の思いを吐き出し、語り合う事ではないでしょうか。書き出してもらい貼り出すと「家族、社会を真摯に見つめ直し、子ども達未来世代を力強く支えていこう」「皆で力を合わせれば何かが変わっていく！」と母の声で一杯になりました。

かな ちえ子 (神奈川県)